



貝の観察

学習のねらい	
<p>○湖底の貝を観察することで、びわ湖に興味・関心をもつことができる。</p> <p>○びわ湖にすむ貝の実物に触れて、びわ湖の固有種について考えることができる。</p> <p>○びわ湖の貝の漁獲量の変化から分かることを話し合い、湖底の環境や生態系のバランスについて考えることができる。</p>	
準備物	
うみのご船内で準備できるもの	乗船校で準備するもの
<ul style="list-style-type: none"> ・貝の標本 ・貝のパネル ・貝の漁獲量の変化を示す資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・シート（机の上に敷く） ・シジミの貝殻 ・工作マット ・針金（9ピン） ・接着パテ ・ストラップコード ・使い捨てビニル手袋 ・つまようじ ・小分け用袋 <p style="color: red; font-size: small;">※シジミのストラップのつくり方</p>
主な学習の流れ	ポイント（○）及び留意点（☆）
はじめ	<p>1. 本学習のめあてを確認する。</p> <p>○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識して示す。</p>
なか	<p>2. びわ湖にすむ貝の観察をする。</p> <p>○貝のパネルや標本を使って、びわ湖にすむ貝を紹介する。</p> <p>☆湖底の生き物を採取し、観察することもできる。</p> <p>○びわ湖にすむ貝の特性に気づくことができるように、淡水真珠や固有種について取り上げる。</p> <p>3. びわ湖の貝の漁獲量の減少について知り、その原因や自分にできることについて考える。</p> <p>○びわ湖の貝の漁獲量の変化がわかる資料等を示す。</p> <p>☆保全再生の取組について紹介する。</p> <p>☆シジミのストラップをつくることもできる。</p>
おわり	<p>4. 本学習のまとめをする。</p> <p>○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識してまとめができるようにする。</p> <p>○学習のまとめ②や乗船後の学習につながるようにする。</p>

（※1）活動場所・・・ 多目的室・活動室

（※2）実施時期・・・ 通年

※うみのご船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。